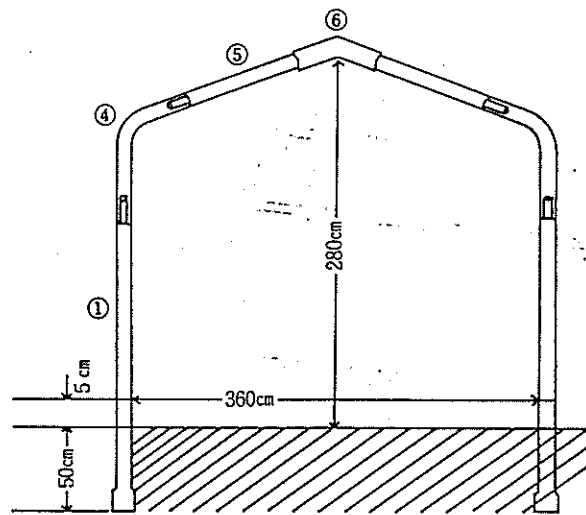


# パイプ倉庫組立説明書

N S 61M型



## ケース内容説明書

### Aセット

No.	品名	数量	形状及び寸法
(1)	(脚直管)	18本	25%×220cm ㉓
(2)	(前後入口用直管)	4本	25%×180cm
(3)	(前後入口用直管)	4本	25%×120cm

### Bセット

No.	品名	数量	形状及び寸法
(4)	(天井用曲管)	18本	25%×100cm ㉔
(5)	(天井用直管)	18本	25%×120cm ㉓
(6)	外ジョイント	9ケ	28%×21cm
(7)	Tバンド	12ケ	

(8)	ユニバーサルジョイント	2組	㉕ 22%×28%
(9)	ユニバーサルジョイント	4組	㉖ 25%×25%
(10)	クロスワン	42ケ	㉗ 25%×22%
(11)	トップセッター	7ケ	㉘
(12)	Rバンド	3ケ	約210m ビニールひも

### Cセット

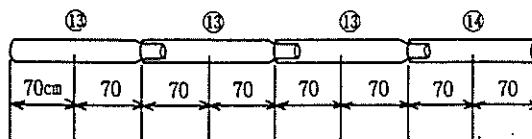
No.	品名	数量	形状及び寸法
(13)	(横通用)直管	21本	22%×146cm ㉙
(14)	(横通用)直管	7本	22%×140cm ㉚

### Dセット

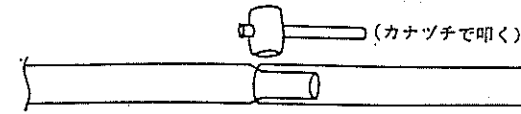
(15)	天幕	1枚	
(16)	前後入口幕	2枚	

## \*組立順序\*

(イ) 部品No(13)(14)の横通し直管を使い5m60cmの直管を7本作る。下図の様に70cm毎に印をする。

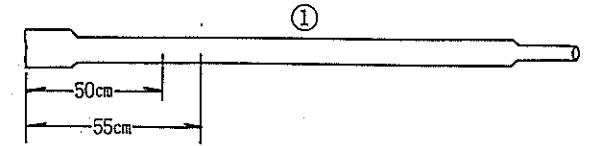


※

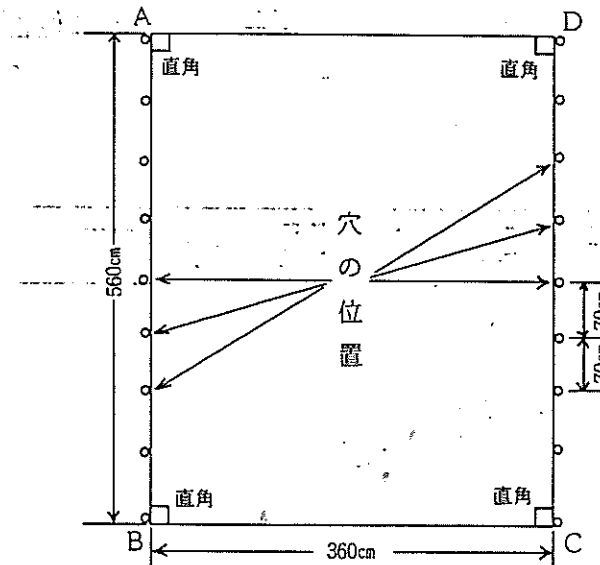


(イ) で作った直管は図の様に差込んだあと抜けない程度にカナヅチで叩いて下さい。

(ロ) 部品No.1の脚用直管に下図の様につぶしてある方から50cmと55cmの所に印をする(18本)



(ハ) 建てる場所に図の様に地割をする。



(ニ) AとB、CとDの5m60cmの間に70cm間隔で深さ50cmの穴をほる。

※(この場合イ)で作った直管をAとB、CとDの間に置いてその印の処に穴をほるとよい)

(ホ) ABCDの各角の穴にNo①の直管を50cmの印まで埋込んで建てる。

(ヘ) ホで建てた直管の55cmの印の処に糸を張って高さを揃え他のNo①の直管を全部建てる。

(ト) ホで建てた直管に部品No④の曲管を差し込みその上に部品No⑤の直管を差し込んで部品No⑥の外ジョイントを使いアーチを作る。

※(この場合先端を下方に引下げて接続するとよい)

(チ) イで作った直管の真中の印の所とトで作ったアーチ(5番目)の天井の外ジョイントとNo⑪のトップセッターを使って結合する。

(リ) チの直管の両端をNo⑧ユニバーサルジョイントでアーチ(両端)の外ジョイントに結合する。

※(この場合、ユニバーサルジョイントは㉕と㉖を使って下さい)

の天井No.⑥外ジョイントと直管（イ）で印した70cmの印の所）をNo.⑪トップセッターで結合する。

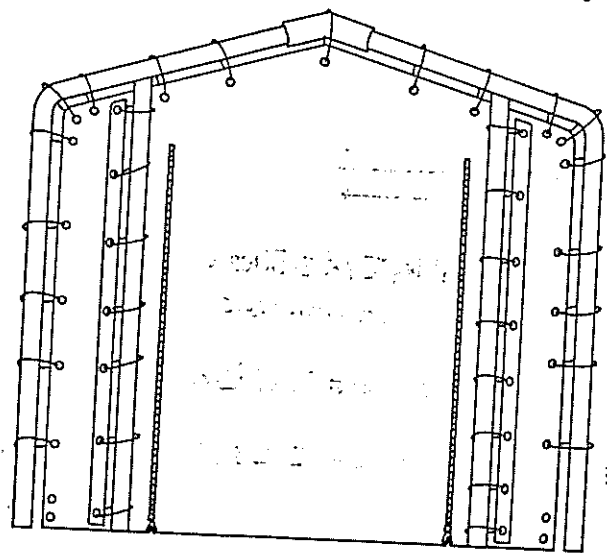
(ル) 同じ要領で、(ロ)で印をした脚用直管の55cmの所とNo.①とNo.④・No.④とNo.⑤のつぎ目に(イ)の直管をNo.⑩のクロスワンを使って結合する。尚両端はNo.⑦のTバンドで結合する。

※横通用直管(イ)はすべて内側にして下さい。

(ヲ) No.②の前後入口用直管はアーチの一番目と一番後に側面より55cmの所に垂直に建て上部はNo.⑨のユニバーサルジョイント㊦を使い下部は地中に埋込んで下さい。(約30cm)

## 天幕の張り方

(1) 先ず前後入口幕を下図の様に取り付けて下さい。



※ 下部ハトメは天幕を張ってから結ぶ  
 ※ 入口用直管は入口幕の内側にする。

- (2) 天幕はロープの立った方を前後にしてかぶせる。
- (3) 前入口の方のテント折返し（シボリ巾）は10cm位巾になるよう前のロープを仮にしぼって下の直管に結ぶ。
- (4) 後入口のロープを一杯にしぼり下の直管に結ぶ。
- (5) 再び前入口のロープを一杯にしぼり直管に結ぶ。  
 ※テントのシボリはきれいにしぼって下さい。
- (6) テントの両側のハトメと下の直管をNo.⑫のビニールひもを30cm位に切って結ぶ。  
 ※結びおわったら、下方の直管を少しカナヅチで叩いて下にさげるとテントはきれいにはれます。
- (7) 残りのビニールひもでテントをおさえて下さい。

